



三 笠 山

阿久根市立三笠中学校
学校便り 令和元年10月号

校訓
自主
協調
持続

生活実践目標
美:場を清める
礼:礼を正す
時:時間を守る

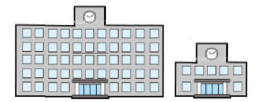
学校教育目標
未来を拓く、心豊かでたくましい生徒の育成

創立1947(創立72周年)
卒業生 10,513人

学校規模が絶対ではない

校長 四元清路

学校を指すときに生徒(児童)の数を基に「大きい学校」、「小さい学校」と表現することがあります。先日、全校朝会で地区中学駅伝大会出場壮行会を行いました。その際、生徒たちに「明日の駅伝大会は学校対抗で行われるため、出水地区内の中学校のほぼすべてが選手を選抜して出場する。よく、『大きい学校は強い』とか言うが、三笠中は大きい学校だろうか、それとも小さい学校だろうか」と尋ねてみました。



私は若い頃、全校生徒20人足らずの学校に赴任したことがありました。その学校の部活動は男子テニス部と女子バレー部のみでした。ある日のPTAの会の中で地区中学校陸上大会への参加が話題となりました。そのとき一部の保護者から「陸上大会は大きな学校が強いに決まっている。大きい学校はたくさん生徒の中から選手を選抜して出場している。それに比べて、うちのように小さい学校はほぼ全員参加なのでかなうはずがない。どうせビリで恥をかかすだけだ。だから出場を取りやめた方がいい」と言われました。そのとき私は「恥をかかすから出ないというのはどうでしょうか?小さい学校だからこそ、大きな舞台に立つ経験を積ませることが必要なのです。恥をかかすかも…というのなら恥をかかないように練習すべきです。力の差はあるのに、何の努力もせずただ出るだけでは、力の差を思い知らされるだけに決まっています。彼らもいずれ高校等に進学したときには大きな集団に入るのですよ。そのときに小さい学校の出身だからと気後れするようではダメなのです。」と言いました。その後、年間通じて早朝に陸上トレーニングに取り組みさせた結果、生徒たちは力をつけ、地区代表として県陸上大会に出場した生徒も何人も出ました。

大規模校にも小規模校にもそれぞれの特色や良さがあります。大切なことは学校の規模ではなく、そこでどのような教育が実践され、どのように子どもたちに力をつけているかです。

ところで地区内(阿久根市・出水市・長島町)には16の中学校があります。その中で三笠中は生徒の数の多い方から5番目です。つまり地区内では大きい学校に入るのです(下表参照)。

また、日本には中学校が10,270校ありますが、その中で「三笠中」という名の学校は3校あります。奈良県の「奈良市立三笠中学校(生徒数735名)」、北海道の「三笠市立三笠中学校(生徒数140名)」,そして本校です。「鹿児島の名門 三笠中」と言われるよう、充実した教育活動を推進したいと思えます。



1	出水	580
2	高尾野	340
3	米ノ津	325
4	阿久根	276
5	三笠	127
6	鷹巣	109
7	野田	92
8	長島	84
9	川床	47
10	鶴荘学園	38
11	江内	33
12	鶴川内	32
13	平尾	31
14	大川内	23
15	獅子島	10
16	大川	4

▲ 女子は14校18チーム、男子は12校19チームが出場した地区中学駅伝競走大会
三笠中は女子が10位、男子はAチームが5位、Bチームが12位でした。

新チームが健闘! 10月9~10日に地区中学新人総体が開催されました。結果は次の通りです。

- 女子バレー部 **優勝**
- 男子バスケットボール部 **準優勝**
- 女子バスケットボール部 3敗
- 野球部 1回戦 3-7長島
- 柔道部 個人戦 **準優勝**: 川上大和
- 剣道部 男子団体戦 **3位** 個人戦: 1年**準優勝** 大野巧磨, 2年**3位** 山田悠翔

次の中体連の大会は来年6月に開催されます。県大会への出場権をかけた大会です。これから寒くなり練習には厳しい季節ですが、「一冬超えれば強くなる」とも言われます。各部のこれからの大きな飛躍を期待します。

▲各中学校の生徒数

昨年度より大きく向上！ 地区駅伝大会

3年生にとって最後の中体連の大会となる出水地区中学校駅伝大会が10月2日(水)、出水市高尾野町河川敷ジョギングロードで行われました。

選手たちは夏休みからトレーニングに励み、朝練や試走を2回行うなどして、頑張ってきました。

結果は表面のように、残念ながら県大会への切符は獲得することができませんでした。しかしながら、学年や部活の垣根を超えた学校選抜チームで、最後までタスキをつなぎきることができ、改めて「チーム三笠」の絆が強くなりました。



新たな伝統へエール！ 地区新人戦

10月8日(火)の全校朝会で地区中体連新人大会に出場する選手たちに向けて壮行会が行われました。

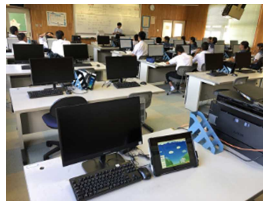
3年生の生徒会のメンバーの音頭により、全校で選手たちに熱いエールを送りました。

結果は表面の通りですが、どの部活動も今持てる力を十分に発揮したようです。今回の結果を元に夏に向けての目標を決め、これからのトレーニングや練習を乗り越えてほしいと思います。



パソコンリニューアル

市の広報誌でも紹介されたように本校のPCが新しくなりました。技術の授業だけでなく、様々な授業の場面で活用し、生徒たちの学力向上やPCスキルの向上に活用していきます。



栄養教諭の出前授業 10月15日(火)

給食センターの栄養教諭(橋元千文先生)に、1年生の家庭科の授業で、「食育に関して」授業をしていただき、鹿児島の伝統食について学習しました。



生きる力を育む体験活動 1年：宿泊学習 2年：職場体験学習 3年：海岸清掃・1日遠足

体験活動は豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力などの生きる力を育むためには欠かせません。本校では10月に学年別に実施し、生徒たちは普段の学校では味わえない様々な体験をしてきました。

<1年生：宿泊学習>

50周年を迎えた出水市青年の家で16日から1泊2日の研修を天候にも恵まれ、無事に終わることができました。集団生活を通じて、仲間との協調・友愛・信頼の心を深めました。まが玉製作・オリエンテーリング・天体観測・野外炊飯などの体験活動から挑戦・勇気・思いやりの心などを育みました。特に天体観測では、秋の星座や土星の輪、月のクレーターを大型天体望遠鏡で観測でき、生徒たちは感動していました。今回の研修の成果を、学校生活・家庭生活でも発揮していきたいと思えます。



<2年生：職場体験学習>

16～18日の3日間、阿久根市と長島町の事業所で、職場体験に行ってきました。職場の中には、普段はお客として訪れていた立場から店員という立場になり、働くことの苦労や喜びを味わうことができました。また、親をはじめ大人の毎日の大変さを知り、感謝の気持ちを新たにしました。協力をいただいた事業者(下記一覧)の皆様、本当にありがとうございました。



<本年度御協力いただいた事業者(敬称略・順不同)>

おりた保育園、文旦保育園、出水郡医師会広域医療センター、内山病院、グループホームはまゆう、麵処はし脇本店、古賀建設、松木博建設、阿久根消防署、パン工房 パパン、Aコープ鹿児島三笠店、富浜書店、ケイエスケイ(株)、A-Z 阿久根店、道の駅黒之瀬戸だんだん市場、ファッションセンターしまむら、プーランジェリー・サンセリテ、京田園、北さつま漁業協同組合黒之浜支所、阿久根石油さんばち Q 給油所

<3年生：海岸清掃・一日遠足>

17日に脇本海岸の清掃を行いました。絶滅危惧種のウミガメやシロチドリが産卵に訪れるすばらしい浜を2時間かけてきれいにしました。翌18日は一日遠足に行き、甲冑工房丸武とちかび展示館、薩摩藩英国留学生記念館を訪問しました。中学校生活最後の校外学習でかけがえのない仲間と楽しい思い出をたくさん作ってきました。



令和元年11月の行事予定

地域が育む「かごしまの教育」県民週間 11月1日～7日

日	曜	行事等	日	曜	行事等
1	金	フリー参観(9日まで)、学習発表会、3年PTA	15	金	テスト前部活動休止
5	火	いい歯につこり三笠週間(11日まで)	20	水	期末テスト(~22日)
11	月	2学年 薬物乱用防止教室	21	木	学校保健委員会・家庭教育学級
12	火	家庭学習強調週間(21日まで)	22	金	避難訓練